

令和新時代の県立高等学校教育実施計画<前期（令和9年4月1日実施分）>（概要）

令和8年2月16日
高等学校課

1 基本計画<前期>（令和7年3月15日策定「令和新時代の県立高等学校教育の在り方に関する基本計画<前期>（令和8年度～令和12年度）」）の概要

■県立高校がめざす新しい姿

自分の夢や目標の実現に向けた可能性を広げるために
「社会とつながり 体験する 選択できる 新しい学び」を創造します

方針1：生徒一人一人の資質・能力や可能性を最大限伸ばす学びを推進します。

方針2：将来の地域を支える人材を育てるふるさとキャリア教育を推進します。

方針3：様々な現代的諸課題に対応し、鳥取県や日本、世界に貢献できる力を育成する学びを推進します。

■基本計画<前期>の観点

前期（令和8年度～令和12年度）は、将来の鳥取県を支える人材育成をさらに推進するため、専門学科を整理するとともに、より専門性を高度化します。あわせて、各地区において規模の適正化を図り、それぞれの高校の魅力化を推進します。

2 令和9年4月1日実施再編内容（R7.3.15 策定「基本計画<前期>」より抜粋）

■前期再編内容※前期中に240人程度の募集定員減

（1）専門学科の整理・専門性の高度化

①鳥取湖陵高校の工業学科を鳥取工業高校に再編（鳥取湖陵高校▲1学級（△38人））

②境港総合技術高校の工業学科の一部（電気電子科）を米子工業高校に再編

（境港総合技術高校▲1学級（△38人））

※境港総合技術高校の工業学科（機械科）はひとまず維持。（教職員配置等の激変緩和、施設設備の観点）

（2）規模の適正化

③日野高校を「小規模校の在り方に関する基準」に基づき再編（▲1学級（△38人））

3 実施計画<前期（令和9年4月1日実施分）>

基本計画に示す方向性を実現させるため、各学校の特色ある教育活動を「実施計画」として示します。
※このたびは、令和9年4月1日再編実施5校について示します。

4 参考：基本計画スケジュール

年度		前期（R8～R12）	後期（R13～R17）
R8			
R9.4.1		①鳥取湖陵高校、鳥取工業高校再編 ②境港総合技術高校、米子工業高校再編 ③日野高校再編	
R10.10	前期	④⑤⑥基本計画、実施計画公表 (普通学科、総合学科、小規模校を想定) ④鳥取東高校、鳥取西高校、青谷高校、岩美高校、八頭高校、智頭農林高校の中から▲1～2学級程度の募集定員減 ⑤倉吉東高校、倉吉西高校、倉吉農業高校、鳥取中央育英高校の中から▲1～2学級程度の募集定員減 ⑥米子東高校、米子西高校、米子高校、境高校の中から▲1学級程度の募集定員減	後期基本計画公表 ※対象学校名公表
R11			後期実施計画公表（最速）
R12		④⑤⑥実施	
R13			
R14			
R15			
R16			
R17	後期		後期計画実施

5 実施計画

(1) 専門学科の整理・専門性の高度化

専門性の高度化

■鳥取工業高校

地元企業との連携による先端技術を活用した学びや STEAM 教育をとおして、社会の持続的発展に貢献し、地域を支えるものづくり人材の育成をめざします



専門的な学びにより、このような専門人材を育成します

○機械科

機械についての仕組みや部品設計、材料の加工方法などの学習をとおして、エキスパートとして活躍できる機械技術者を育成します。

○電気科

発電から利用までの電気の基礎の学習をとおして、著しい技術発展に対応できる電気技術者を育成します。

○情報工学科

コンピュータシステム、プログラミング技術、AI 人工知能等の学習をとおして、新時代に対応できる情報技術者を育成します。

○建設工学科（建築類型・土木類型）

まちづくりの知識・技術についての学びをとおして、最新の技術や情報、高度な専門性を身に付けた建設技術者を育成します。



このような学びを充実させます

○入学後に自分に合った学科を選択します（くくり募集）

1年次は4つの科（機械、電気、情報、建設）の実習等をとおして、工業について幅広く学習します。

2年次からはそれぞれの科で将来の自分の進路に向けて専門性を高める学習ができます。

○鳥工版 STEAM 教育を推進します

教科等横断的な学びにより多面的な見方・考え方を学び、「課題研究」を中心とした探究学習によって地域の課題に気付き、ものづくりをとおしてその解決に向けて取り組みます。

○最先端技術を習得する学びを推進します

生成 AI、VR ゴーグル、3D プリンタ、モーションキャプチャやドローンなどの先端機器やデジタル技術を活用し、産業界や研究機関と連携し、社会の様々な課題解決に取り組みます。

- その他、特色ある教育活動 -

○デュアルシステム

毎週1回3か月にわたる長期インターンシップを行います。各科の専門科目に関連の深い企業での実習をとおして、働くことに対する認識と理解を深めます。

○スーパー工業士

AI をはじめとするデジタル技術等の県独自プログラムを1年間受講し、一定の成績を修めた生徒を「スーパー工業士」として県が認定します。高度な生産現場に対応する新しいものづくりについて学びます。

○各種技能大会等への出場

様々な技能大会等に出場し、他校の生徒と技術・技能を競います。練習、大会を通じ、相互に切磋琢磨することで自らを高める自己鍛錬の場となります。（旋盤作業、電気工事、測量、木材加工、溶接、ロボット競技、電気自動車、マイコンカー 等）



県立高校での学びの先には、このような進路があります

○進学 4年制大学工学部、工業系短期大学、専門学校 等

○就職 県内・県外企業（機械系、電気・電子系、建設系 等）、公務員 等

- その他、資格取得等 -

就職、進学に向けてのアピールにつなげます。

- ・情報技術検定
- ・技能検定（旋盤、検査、保全、電気・電子機器組立、シーケンス制御、建築大工）
- ・危険物取扱者
- ・機械製図検定
- ・ドローン検定
- ・電気工事士
- ・測量士補
- ・土木施工管理技士補
- ・建築施工管理技士補
- ・火薬類取扱保安責任者



専門性の高度化を図るため、このような施設設備の整備を検討します

・ドローン等の最先端技術を活用した学びに対応できるよう、施設改修を検討します。

・実社会において活用されている最先端設備の導入を検討します。

■米子工業高校

利用者の視点で「ものづくり」を学ぶとともに、常識にとらわれることなく活用することをとおして、新しいものを創り出す技術革新の感覚を養い、持続可能な地域社会を創る人材の育成をめざします



専門的な学びにより、このような専門人材を育成します

○機械科

金属加工を中心としたものづくりや設計製図、機械制御についての学びをとおして、機械に関する幅広い知識や技術をもち、高い技術を身に付けた機械技術者を育成します。

○電気科

電気を安全に供給し有効活用する技術についての学びをとおして、電気に関する新たな課題を解決する電気技術者を育成します。

○情報電子科

プログラミング、IoT など情報技術全般や電子回路などの電子技術についての幅広い学びをとおして、電子情報分野で活躍できる情報技術者を育成します。

○環境エネルギー科

山陰地方で化学を専門に学ぶ唯一の科です。電気・電子の基礎、環境化学やエネルギー管理についての化学専門の学びをとおして、環境を大切にする現代社会のニーズにあった人材を育成します。

○建設科（土木）

測量や設計、施工技術についての学びをとおして、都市基盤に関わる土木技術者を育成します。

○建設科（建築）

建築物に関わる設計、製図、木材加工等についての学びをとおして、居住環境に関する幅広い知識を持った建築技術者を育成します。



このような学びを充実させます

○産業界や地域人材と連携した技術講習や資格指導を推進します

プロから実技指導を受けることで、技能レベルの向上や資格試験の合格を実現します。

○防災・減災に関するものづくりについて学びます

お湯で発電する装置の製作や太陽電池を利用した移動式充電装置の製作、泥水の浄化、ドローン実習等をとおして、専門の学びを防災・減災に活かします。

○充実した設備により最先端技術を習得する学びを推進します。

最新のデジタル機材等の教育環境により、AI やデータサイエンスなどの技術を取り入れた授業を行います。

-その他、特色ある学び・教育活動-

○高校生ものづくりコンテスト、ジャパンマイコンカラリー等各種大会への参加

各種大会への出場に向け、練習や研究に励み、技能を磨きます。

○放課後キャリア塾

ものづくり人材としての将来の在り方や進路について考えるセミナーをキャリアアドバイザーが放課後に開催し、自己理解、職業理解を深めます。

○スーパー工業士

AI をはじめとするデジタル技術等の県独自プログラムを 1 年間受講し、一定の成績を修めた生徒を「スーパー工業士」として県が認定します。高度な生産現場に対応する新しいものづくりについて学びます。



県立高校での学びの先には、このような進路があります

○進学 4 年制大学工学部・情報系学部、工業・情報系短期大学、専門学校 等

○就職 県内・県外企業（機械系、電力系、建設系 等）、公務員 等

-その他、資格取得等-

就職、進学に向けてのアピールにつなげます。

- ・ 危険物取扱者 ・ 機械加工技能士 ・ 電気主任技術者 ・ 電気工事士 ・ 電気工事施工管理技士補 ・ 消防設備士
- ・ 基本情報技術者 ・ IT パスポート ・ 測量士補 ・ 土木施工管理技士補 ・ 建築施工管理技士補 等



専門性の高度化を図るため、このような設備整備を検討します

- ・ より現代社会の課題に即した学びを実践するため、高性能電子顕微鏡や高性能 PC 等の最先端設備の導入を検討します。

■鳥取湖陵高校

県内唯一の情報学科をはじめ、農業学科、家庭学科の幅広い知識や専門的な先端技術を習得し、地域産業に貢献する人材の育成をめざします



専門的な学びや学科を超えた学びにより、このような人材を育成します

○情報学科

コンピュータシステムの構築等、情報に関する幅広い知識と技術を習得することをおして、高度情報社会で活躍する情報技術者を育成します。

○農業学科

植物の栽培管理や生産・加工・食品・流通に関わる幅広い知識と技術を習得することをおして、地域に貢献する産業人材を育成します。

○家庭学科

衣食住、保育、福祉に関わる幅広い知識と技術を習得することをおして、心豊かな生活を創造する地域の担い手を育成します。



このような学びを充実させます

○全ての科で「情報！」を履修し、最先端の情報教育を実践します

情報活用能力を基盤とした各専門学科に必要な知識や技術を身に付けます。

○多様な進路に応じた学びが選択できます

他学科の科目を選択して学習することにより、一人一人の多様な進路実現を可能にします。幅広く専門性に触れることで新しい価値を生み出すことが可能となります。

○学科横断型の学びを行います

異なる学科の生徒が連携して学びます。学科横断型の課題研究をとおし、専門性を活かしつつ、より幅広い知識と柔軟な発想により学びに広がりを持たせます。

-その他、特色ある学び・教育活動-

○データサイエンス探究

社会課題（感染症、環境、格差、少子高齢化、天気予報）などを題材に、統計・AI・情報倫理などの分析力とリテラシーを育成します。

○シミュレーションプログラミング

数学や物理のモデルをプログラム化し、シミュレーションで実証します。論理的思考力と応用力を育成します。

○デジタル機器を用いた創造活動

3Dプリンタ等最新設備を活用した創作体験を行います。デジタルを形にする体験をとおして、創造力を養います。

○スーパー農林水産業士

企業や農家での長期インターンシップを中心とした職業教育カリキュラムを優秀な成績で修了した生徒を鳥取県が認定します。



県立高校での学びの先には、このような進路があります

○進学 4年制大学農学部・情報系学部、保育・福祉系短期大学、専門学校 等

○就職 県内・県外企業（造園系、福祉系、情報系 等）、公務員 等

-その他、資格取得等-

就職、進学に向けてのアピールにつなげます。

- ・情報技術検定
- ・日本農業技術検定
- ・技能検定（造園）
- ・測量士補
- ・高校食物調理技術検定
- ・高校保育技術検定
- 等



学びの充実を図るため、このような施設設備の整備を検討します

- ・地域課題解決や新たな価値の創造に挑戦する「湖陵ラボ」の整備を検討します。

■境港総合技術高校

海洋練習船「若鳥丸」や自動車実習設備、介護実習設備といった県内オノリーワンの教育環境のもと、地域の産業界におけるスペシャリストやプロフェッショナルを育成します



専門的な学びや学科を超えた学びにより、このような人材を育成します

○水産学科

- ・若鳥丸による航海実習などをとおして、海、船、魚のスペシャリストを育成します。
- ・地元企業と連携した鮮魚や水産加工品販売など、魚食普及活動や商品開発をとおして、地域に貢献する産業人材を育成します。

○工業学科

山陰地方で唯一、在学中に3級自動車整備士の受験資格を取得できる一種養成施設での学びをとおして自動車整備士等の機械技術者を育成します。

○福祉学科

介護、保育等、福祉に関する様々な実習をとおして、社会に貢献できる福祉人材を育成します。



このような学びを充実させます

○国家資格の取得につなげます

山陰地方で唯一自動車整備士の資格が取得できます。また、介護福祉士、海技士など将来につながる資格を取得することで地域を支える人材育成につなげます。

○充実した施設・設備で学べます

海洋練習船 若鳥丸、食品加工実習棟、自動車整備実習棟、介護実習室など充実した施設での学びをとおして実践力を養います。さらに海洋データ処理室の整備等も検討し、スマート教育の実施とともに、より地域に役立つ研究を推進します。

○多様な科目から興味のある学びを選択できます

ダイビング、自動車実習、保育音楽、境のさかななど地域資源を活かした地域に根差した学びを進めます。

-その他、特色ある学び・教育活動-

○キッチンカープロジェクト～境総合見える化計画～

キッチンカーをとおして、学科を超えた連携や協働学習を実施します。キッチンカーを主に機械科が製作し、食品・ビジネス科が販売実習を行います。また、福祉科が保育園や高齢者施設等のイベントで活用するほか、海洋科が近海で獲った魚を使い魚食普及活動を行います。

○専門学科と英語科との探究的な学習の推進

境港という地の利を活かし、国際クルーズ船で水木しげるロード等を訪れる海外からの観光客に対して、英語を使っての接客や観光案内、販売実習を行います。ALTと協力して探究的な学習を展開します。

○水中ドローンを用いた境総合版ビッグデータの構築

公立鳥取環境大学、米子工業高等専門学校、地域企業と連携し、水中ドローンを用いて美保湾での海洋調査を行います。調査データを5年、10年と蓄積し、データサイエンス学習を展開していきます。

○eスポーツを用いた高齢者施設、特別支援学校との交流

福祉科では、授業等でeスポーツを学び、それをひとつのツールとして高齢者と交流します。導入前後で高齢者がどのように変容したか記録し分析します。また、特別支援学校との交流においては、特別支援学校の生徒が使いやすいようコントローラー等を機械科で製作するなど学科を超えた連携を図ります。

○県外生徒及び他地域からの生徒募集

全国的にも少ない水産学科を中心に、県外及び県内他地域からの生徒を募集していきます。



県立高校での学びの先には、このような進路があります

○進学 4年制海洋系大学、福祉系短期大学、専門学校 等

○就職 県内・県外企業（水産系、海運系、福祉系）、公務員 等

-その他、資格取得等-

就職、進学に向けてのアピールにつなげます。

- ・四級海技士（航海・機関）・一級小型船舶操縦士・第二級海上特殊無線技士・潜水士・簿記実務検定
- ・2級ボイラー技士・危険物取扱者・3級自動車整備士
- ・小型車両系建設機械運転業務特別教育（フォークリフト1t未満）・介護福祉士国家試験受験資格 等



学びの充実を図るため、このような施設設備の整備を検討します

- ・水中ドローン等で収集したデータを蓄積し、分析、研究を行うために必要な設備の整備を検討します。
- ・海洋調査で捕獲した魚の観察、飼育や、中海のマハゼの研究として稚魚の養殖を行うなど、大型水槽の設置を検討します。

(2) 規模の適正化

小規模校における特色ある学びの推進

■日野高校

日野郡の豊かな自然環境、地域資源を活かしつつ、地域活性化に寄与する様々な取組をとおして、地域社会の持続的発展に貢献できる人材の育成をめざします

生徒の個性を活かした主体的な学びにより、このような人材を育成します

○総合学科

一人一人の進路希望にあわせた柔軟な学習を行うことをとおして、地域社会の持続的発展に貢献できる人材を育成します。

このような学びを充実させます

○総合学科の特徴を最大限に活かし、一人一人の学びの幅を広げます

普通教科に加え、農業、商業、家庭・福祉の実践的な学びを展開します。
教科等横断的な学びにより、学びの相乗効果を創出し、新たな価値を創造します。

○自らの将来を考え、主体的に自分だけの時間割を作ります

主に2年次、3年次に、多彩な選択科目を組み合わせ、一人一人の興味関心、進路に応じて学ぶことができます。
一人一人に寄り添った丁寧な学びを進めます。

○多様な意見に触れ成長できます

県外等からの生徒との対話的な学習や、地域との深い関わり、遠隔システムを活用した県内外の高等教育機関との連携といった多様なつながりの中で、様々な意見に触れ、多様性、協働性、寛容性を身に付けています。

○地域資源を活かした魅力ある学びができます

地域資源を活かした体験的な学びをとおし、「社会で生きる力」を身に付けます。
自然に触れたり、活用したり、地域特有の自然環境を存分に活かした学びを進めます。

-その他、特色ある学び・教育活動-

○アウトドア

日野郡の恵まれた自然環境を活用し、ラフティング、カヌー、乗馬等を体験します。

○ふれあい動物園

大山トム・ソーヤ牧場と連携し、体験的に学習します。愛玩動物等とのふれあい体験を行うとともに、小学生や高齢者との交流活動を企画・運営する学習活動を行います。

○健康ゲーム

「健康ゲーム指導士」養成講座の開催、高齢者施設等での交流、レクリエーションについての探究学習を行います。

○日野高ショッピング

実習商品等を地域の方へ販売し、接客をとおして優しさや思いやりの心の育成を図ります。

○郷土芸能

郷土の伝承芸能について、その歴史や継承していくことの大切さ、またその課題について探究的に学習するとともに、荒神神楽「八重垣能」の基本的演舞の習得をめざします。

○たたら

地域と連携し、日野地域におけるたたら文化について学ぶとともに、高等教育機関等と連携し、たたら製鉄を科学的に学習します。また、たたらにより製鉄を行った素材を用いて創作活動を行います。

○ミュージックセラピー

音楽の力をとおして、より良い生活をするために歌唱や楽器を用いた簡易伴奏を中心に学習します。地域における交流活動等で実践的な学びを展開することを想定しています。

○レクリエーション

交流学習や実践的な実習、実技指導をとおして、子どもや高齢者との関わり方を学びます。また、集団で協力しながら交流活動を運営します。

県立高校での学びの先には、このような進路があります

○進学 4年制大学、保育・福祉系短期大学、専門学校 等

○就職 県内・県外企業（福祉系、宿泊業、食品系）、公務員 等

-その他、資格取得等-

就職、進学に向けてのアピールにつなげます。

- ・介護職員初任者研修修了資格
- ・健康ゲーム指導士
- ・ガス溶接・アーク溶接技能
- ・フラワー装飾技能士
- ・小型車両系建設機械運転業務特別教育
- ・小型ボイラー取扱資格
- ・危険物取扱者

学びの充実をはかるため、このような設備整備を検討します

- ・現在、日野校舎、黒坂施設の2か所で学習活動を行っていますが、より効果的、効率的な学習活動を持続的に継続させるため、2校舎活用の在り方を検討していきます。